

悟りの世界は言葉で
いえないというけれど、ことばで
言っている
ふいふ
言葉の謎こそ
悟りを得るキーワードになると
空海は言っているが、空

1、4、11ページ 絵手紙「言」「意」「命」 元サマナ絵筆

2、4ページ 手記「今だからかけること1」 元サマナ、女性

5、11ページ 杉本繁郎被告からの手紙 その6

12ページ

後記「チベット政府ーペマ・ギャルポさん講演」

今だから書けること (第1話)

1994年7月～10月にかけて私は独房やコンテナに監禁され、10月下旬に5回目の脱走（下向）をしました。滝本弁護士や上九一色村の人に助けられ、オウムが沢山の嘘をついていたことや危険な集団であることが認識できました。私が知っていることを忘れないうちに記録しておこうと思い、書き始めました。

私が出家している中で、見たこと・聞いたこと・体験したことを図も入れながら書き進めると、A4用紙に27枚となりました。当時、マスコミからの取材依頼が沢山ありました。マスコミが真実を報じて、法の裁きが無い限りオウムは存続すると思われました。

私はこの記録のコピーを警察に渡し、私の知っている全てを警察に話しました。警察は私から調書や上申書を沢山取り、立件に向けて内密に事が進んでいきました。私が拉致されたところを見て、警察に通報してくれた人（オウムと無関係の人）が存在していたので、素人の私はすぐにでも事件として成立するのかなと思いました。

1月になってもまだ、2月もまだ・・・となかなか日の目をみず、結局、警察が私の件で新実被告を逮捕したのは地下鉄サリン事件の後でした。その間、お世話になった上九一色村の人からオウムをつぶすためにマスコミに協力して欲しいと頼まれたこともありましたが、何度も話したくなかったけど、心の中で「あと少しでわかるから、もう少しだから」とつぶやきながら待ちました。今更だけど、もっと早く警察に強制捜査に入って欲しかった。地下鉄サリン事件が起らなかったのでは・・・と思ってしまいます。

10年前に書いた記録が今も私の手元にあります。これを元に当時、話せなかったことをこれから書いていきます。

私は AHI（治療省）でワークをしていたので、色々なイニシエーションに携わりました。1994年6～7月頃、キリストのイニシエーションがありました。

治療省の医師や看護師が2交代制でグループを作り、ワークをしていました。イニシエーションの流れとしては、

第2サティアンの3階で信者は教祖（松本智津夫被告）から黄色の液体をもらって飲みます。

↓

その後、2階のシールドルーム（2畳位の広さで、壁・天井はステンレスのようなもので覆われ、床には畳が敷いてある）に入ってもらいます。

↓

コンクリートの床の上に 30～40 室のシールドルームが設置されていました。
お香を焚き、教祖のマントラを流していました。

↓

治療省のスタッフにはクリシュナナンダ師（林郁夫被告）から導入用の文章を配られていました。

シールドルームに入った信者に私はその文章を読んで伝えました。

『 尊師からの伝言です。よく聞いてください。』

これからあなたの望んでいたバルドーや過去世や未来での経験ができます。

声を出したり、暴れたり、吐いたりするとプラーナがもれ、高い世界の
体験ができなくなります。また、身体がブヨブヨになったり、感覚がおか
しくなったりしますが、それはバルドーの状態で、当たり前のことなので
驚いたり、騒いだりしないで自己を見つめて下さい。体位は蓮華座か右側
を下にして横になると良いです。

では瞑想を始めて下さい。 』

みんな液体を飲んで、15 分以内で潜在意識（？）が出てきます。

ある人は自分で裸になってしまったり、トイレトペーパーや紙オムツをビリビリと意味もなくやぶいたり、大声で怖いと叫んだり、暴れたり、扉を開けて飛び出て来たり、私たちスタッフに襲いかかったり・・・と行動は様々でした。

6～7 時間くらいは言動が激しく、危険行動をする人を男性スタッフが紐で縛ったりしていました。12 時間位すると大体の人は静かになりました。

でも、中には具合が悪くなる人がいました。夏だったので室温が高くなりやすい（2 箇所にはクーラーがありましたが、シールドルーム内まで冷気が届かない）こと、暴れるため発汗が多くなりやすい、更に黄色い液体を飲むと発汗が増えるため、体温が 37～38℃の人が 2～3 時間後には 40℃を越えてしまい、意識不明、呼吸停止に陥る人が何人かいました。

私は一緒にワークしていた看護師から 2 人が死亡したことを聞きました。それ以上の死者を出さないために、治療省のスタッフは具合が悪そうな人の体温を測り、38℃以上になったら全身にエタノールをかけ、扇風機で風をあて、体温を下げると同時に、点滴をしていました。更に、いつでも使えるように 2 台の人工呼吸器を用意し、見えないように白い布を掛けておきました。

シールドルームで 24 時間を過ごした後、浴室へ移動となります。サマナは 47℃、在家信者は 46℃の湯を浴槽に貯め、15 分間つかり、45 分間休憩を 3 回繰り返します。治療省の医師・看護師が管理していました。

まず、大きな鍋を火にかけながらにサットヴァジュースを作ります（お湯 2 リットルにサットヴァレモン 1 袋の割合）。その隣のコンロで、ラーメンスープ（お湯 500ml にラーメンスープの液 25 ml）を作ります。更に、その隣のコンロで、お湯を沸かししました。

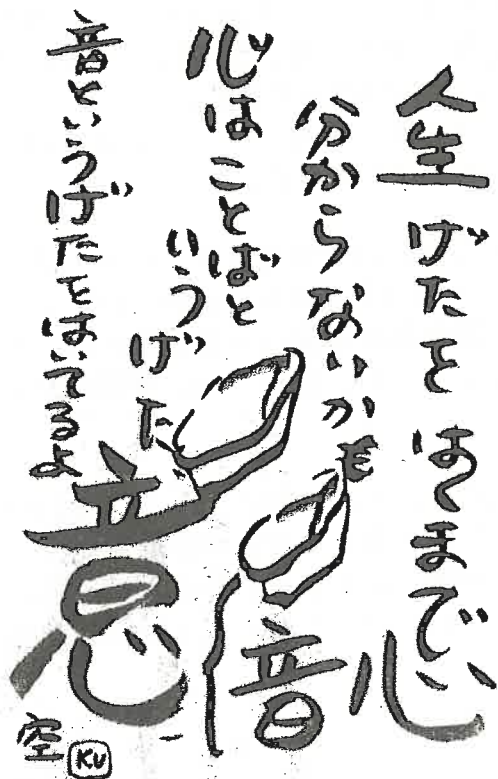
これらの準備ができ、浴槽に水温計で上記の温度の湯を入れ、体温や脈拍に異常がない事を確認したらスタートです。

肩まで湯につかり、3 分後にサットヴァジュース 250 ml を飲んでもらい、更にその 3 分後、また 3 分後・・・15 分間で 250ml を計 5 回飲んでもらいます。終了後、ラーメンスープ 500ml を飲んでもらい、これが 1 セットで、1 人につき 3 回行います。

この温熱の途中で、利胆剤、利尿剤、カルシウム剤、ビタミン剤、下剤などを飲んでもらいました。一般向けには、温熱はカルマを落とすためと言われていましたが、キリストのイニシエーションでの温熱は、黄色の液体が身体の中に残らないためでした。この液体は成分が胆汁に含まれるので、利胆剤を飲ませ、胆汁の排泄を促し、下剤で便を出すことで成分が排泄されるのです。（胆汁は便に含まれているから）。そして、水分を多量に飲ませることで脱水予防と成分を尿で出させる・・・とクリシュナナンダ師が言っていました。

2005.5

元サマナ ペンネーム 海



一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

以上、6-7-8-9-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124-125-126-127-128-129-130-131-132-133-134-135-136-137-138-139-140-141-142-143-144-145-146-147-148-149-150-151-152-153-154-155-156-157-158-159-160-161-162-163-164-165-166-167-168-169-170-171-172-173-174-175-176-177-178-179-180-181-182-183-184-185-186-187-188-189-190-191-192-193-194-195-196-197-198-199-200-201-202-203-204-205-206-207-208-209-210-211-212-213-214-215-216-217-218-219-220-221-222-223-224-225-226-227-228-229-230-231-232-233-234-235-236-237-238-239-240-241-242-243-244-245-246-247-248-249-250-251-252-253-254-255-256-257-258-259-260-261-262-263-264-265-266-267-268-269-270-271-272-273-274-275-276-277-278-279-280-281-282-283-284-285-286-287-288-289-290-291-292-293-294-295-296-297-298-299-300-301-302-303-304-305-306-307-308-309-310-311-312-313-314-315-316-317-318-319-320-321-322-323-324-325-326-327-328-329-330-331-332-333-334-335-336-337-338-339-340-341-342-343-344-345-346-347-348-349-350-351-352-353-354-355-356-357-358-359-360-361-362-363-364-365-366-367-368-369-370-371-372-373-374-375-376-377-378-379-380-381-382-383-384-385-386-387-388-389-390-391-392-393-394-395-396-397-398-399-400-401-402-403-404-405-406-407-408-409-410-411-412-413-414-415-416-417-418-419-420-421-422-423-424-425-426-427-428-429-430-431-432-433-434-435-436-437-438-439-440-441-442-443-444-445-446-447-448-449-450-451-452-453-454-455-456-457-458-459-460-461-462-463-464-465-466-467-468-469-470-471-472-473-474-475-476-477-478-479-480-481-482-483-484-485-486-487-488-489-490-491-492-493-494-495-496-497-498-499-500-501-502-503-504-505-506-507-508-509-510-511-512-513-514-515-516-517-518-519-520-521-522-523-524-525-526-527-528-529-530-531-532-533-534-535-536-537-538-539-540-541-542-543-544-545-546-547-548-549-550-551-552-553-554-555-556-557-558-559-560-561-562-563-564-565-566-567-568-569-570-571-572-573-574-575-576-577-578-579-580-581-582-583-584-585-586-587-588-589-590-591-592-593-594-595-596-597-598-599-600-601-602-603-604-605-606-607-608-609-610-611-612-613-614-615-616-617-618-619-620-621-622-623-624-625-626-627-628-629-630-631-632-633-634-635-636-637-638-639-640-641-642-643-644-645-646-647-648-649-650-651-652-653-654-655-656-657-658-659-660-661-662-663-664-665-666-667-668-669-670-671-672-673-674-675-676-677-678-679-680-681-682-683-684-685-686-687-688-689-690-691-692-693-694-695-696-697-698-699-700-701-702-703-704-705-706-707-708-709-710-711-712-713-714-715-716-717-718-719-720-721-722-723-724-725-726-727-728-729-730-731-732-733-734-735-736-737-738-739-740-741-742-743-744-745-746-747-748-749-750-751-752-753-754-755-756-757-758-759-760-761-762-763-764-765-766-767-768-769-770-771-772-773-774-775-776-777-778-779-780-781-782-783-784-785-786-787-788-789-790-791-792-793-794-795-796-797-798-799-800-801-802-803-804-805-806-807-808-809-810-811-812-813-814-815-816-817-818-819-820-821-822-823-824-825-826-827-828-829-830-831-832-833-834-835-836-837-838-839-840-841-842-843-844-845-846-847-848-849-850-851-852-853-854-855-856-857-858-859-860-861-862-863-864-865-866-867-868-869-870-871-872-873-874-875-876-877-878-879-880-881-882-883-884-885-886-887-888-889-890-891-892-893-894-895-896-897-898-899-900-901-902-903-904-905-906-907-908-909-910-911-912-913-914-915-916-917-918-919-920-921-922-923-924-925-926-927-928-929-930-931-932-933-934-935-936-937-938-939-940-941-942-943-944-945-946-947-948-949-950-951-952-953-954-955-956-957-958-959-960-961-962-963-964-965-966-967-968-969-970-971-972-973-974-975-976-977-978-979-980-981-982-983-984-985-986-987-988-989-990-991-992-993-994-995-996-997-998-999-1000-1001-1002-1003-1004-1005-1006-1007-1008-1009-1010-1011-1012-1013-1014-1015-1016-1017-1018-1019-1020-1021-1022-1023-1024-1025-1026-1027-1028-1029-1030-1031-1032-1033-1034-1035-1036-1037-1038-1039-1040-1041-1

〔 變態⁶に於⁷て又々變⁸へんと欲せしむるも天變⁹
其¹⁰理¹¹の¹²一¹³を考¹⁴へて¹⁵に¹⁶た¹⁷る¹⁸べし¹⁹と²⁰〕

1111

2

۳۳

2

「チベット政府

ーペマ・ギャルポさん講演」

メグミさんという方が下記サイトを、紹介してくれています。 ありがたい。

<http://www.relnet.co.jp/kokusyu/brief/kkouen6.htm>

ペマさんは、チベット仏教研究所の人。日本にあるチベット政府と言うか仏教の大使館みたいなものなのだろうと。

1999年2月25日大阪国際宗教同志会の平成11度総会でのこと。オウムとの関係では、要約して下記のように、述べている。その他のところも興味深いですね。

- ・ 私はもちろん加担-麻原彰晃さんがある程度、偉くなるのに
- ・ 彼をインドに最初に紹介したのは私
- ・ 私なりの打算-もし麻原さんがチベット仏教の信仰者になれば、これは息子みたいになるからと本当に思った
- ・ 何カ月もしないうちにいろんなことが判ってきて、最後には、私は「麻原さんとはお付き合いしないほうがいい」ということを、ダライ・ラマ法王庁に
- ・ 麻原さんが私のことを「自分の活動を妨害した」ということで、雑誌などにもたくさん悪口を書かれました。「卑劣極まる行為だ」とか、いろいろ言われました。それで助かりました(会場笑い)。
- ・ 一つだけお願いした-チベット仏教とは言わないで下さい。麻原教だと言って下さい。ダライ・ラマ法王は、決して麻原さんだけを仏陀だとはおっしゃってない。法王がおっし

やったのは、「すべての人々は仏陀になれる。仏性を持っている」ということだけ。決して「あなた(麻原彰晃)が仏陀だ」とは法王はおっしゃってないし、法王はご自分でも、自分が仏陀だとはおっしゃってない。

・ でも、今でもやっぱり私は麻原さんに対しても、多少申し訳ないと思ってる。麻原さんが、エゴのトリップというか。走ってしまったとすれば、火を大きくするのに「ふう、ふう」といって、火を一生懸命吹いた。その中の一段階なれども、そういうことをやった。

ダライ・ラマ法王に謁見する人というのは、毎日百人単位の人たちです。外国人もたくさん。私はマスコミの人たちや皆さんに申し上げていることは、「これは宗教でもなければ、チベット仏教でもない。これは麻原さん個人の責任、個人の考え方、そして、彼自身の解釈」である。

結局のところ、

- ・ オウムから寄付してもらった金銭を戻す気はないのかなあ、
 - ・ オウム信者にたいして、チベット仏教が利用されたのだから、改めて働きかけるつもりはないのかなあ、
 - ・ なにより、なんで「麻原さんに申し訳ない」が先に出てくるのだ、被害者に申し訳ない、が先だろうが、
- と思う。

たとえば、政治家や芸能人が悪徳業者に利用されて、広告に役立ったりしたとき、被害者のために何を言わずとも、もらった金銭を返していることが多いです。訴訟になって支払いを命じられたのもあった。

チベット仏教って、そんなことの大切さに気づかないのかなあ。

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中央 2-1-15 パークロード大和ビル 2 階

大和法律事務所 窓口 滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitaro@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1 3 4 3 0 7 8 カナリヤの会 滝本太郎